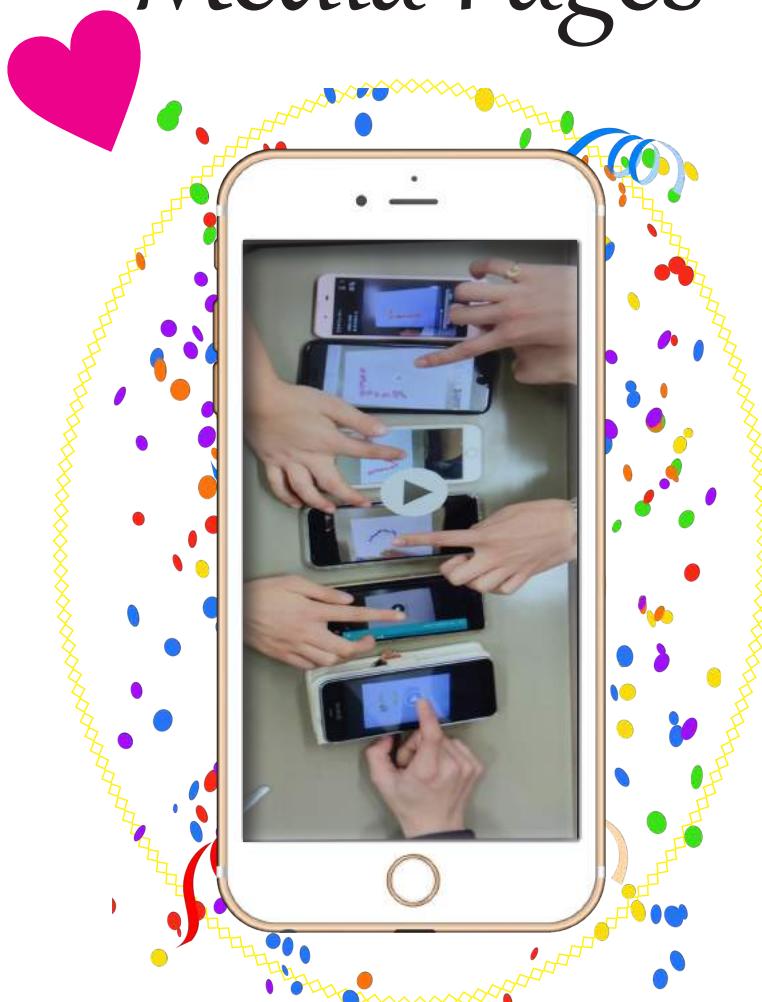


Media Pages



4年間、楽しくメディアを学ぶ。



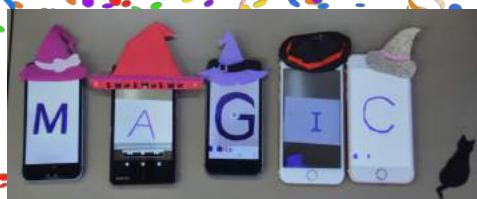
相模女子大学メディア情報学科情報誌

「Media Pages」vol. 7

<http://media.sagamist.jp>

さかじょメディアで

人生が変わる！



0からメディア女子の仲間なろう！

2月20日に新入生対象入学前教育（スクーリング）が開催され、相模女子大学メディア情報学科では、「マルチスクリーン」と呼ばれるスマートフォンを使った表現のイベントを行いました。高校生は5～6人で1グループになり、各グループで、メンバー数が文字数となるように好きな言葉を考えもらいました（例えば6人のグループではFLOWER（6文字））。次に、各メンバーが一文字ずつを担当し、その文字を色紙やクリップなどを使って自由に表し、その様子を自分のスマートフォンで撮影しました。そして、メンバー全員のスマートフォンを並べて再生し、一つの言葉を表現しました。最後に、各グループの作品をiPadで撮影して、みんなで鑑賞しました。しっかりとコミュニケーションをとりながらアイデアを作品にしていく様子は、とても真剣で、みんなで一つの作品を作る喜びを感じているようでした。

1年生は大変だけど、解決できる。



1年目はちょっと大変だったなあ、不安だったなあ、と感じたこととその解決法を聞いてまとめてみました。きっと何人かの役に立つはず！！

大学は授業を自分で組むので、始めに何を取つたらいいのか不安…！

1年の春学期はほとんど必修の講義なので、始めは沢山選ぶ必要がありません。加えて各講義の担当の先生が色々な講義を紹介してくださるので、参考材料がいっぱい！“シラバス”も活用すれば、受けたい授業がきっと見つかります。



ちゃんと講義についていけるかな…？

基礎からこつこつ教えてくれる授業ばかりなので大丈夫です！パソコンにほとんど触ったことがなくとも1年の春学期に基本的なことは学べますし、分からぬところは聞けば先生が丁寧に教えてくださいます。究極、学びたい気持ちさえしっかり持つていればなんでもなる気がします。

テストやレポート提出について

しっかりシラバスで確認した方がいいです。自分はテストの方が性に合っているタイプかレポートのほうがやりやすいタイプかは把握しておくべきです…本当に……。これについても1年の春学期で大体分かることと思います。先生によって評価方法や内容が違うので、自分に合っているものが見つかるはずです。

ほとんどが「入る前に不安だったこと」になってしましましたが、入ってしまえばなんとでもなります。学生支援課など学生の生活をサポートしてくれる機能も充実した大学なので、私のような心配性さんでも安心して過ごせます。ぜひ自分にあった場所を探してみて！

2年生の社長？！

2

自分の店や会社を持っていると想像してみましょう。何を売りたい？どんなサービスを提供する？お客様とのコミュニケーションはどうする？英語によるビジネス・コミュニケーションを学ぶために、メディア2年生のWeb Communication IIの授業では、それぞれがお店や会社を作ります。それから、オンライン上のコミュニケーションに取り組んで、ビジネスに必要なさまざまな文章を作ります。



高級車販売店「Wahlen」社長より

授業で、自分の会社をつくりました。自分の会社のホームページを作ったり、イベントのチラシをつくりました。ホームページやチラシのデザインやレイアウトを考えるのはとても楽しかったです。



ビデオ制作会社「connect」社長より

先生とほとんど英語で話すので、自分の英語力やリスニング力も身に付きます。自分たちがやってみたい会社を1から作ることで、将来に役に立つと思う。会社をつくるには、住所や電話番号を作り、お客様サービス用の音声案内を考え、英語で録音しました。同時に日本とは少しちがった外国のビジネスマナーが学べる、とても楽しい授業でした。

3年生、就活、がんばろう！



春休みは、3年生は就活で忙しいです。仕事を探すには、インターンシップやOGカフェなど、いろいろ面白い方法があります。

「自分に合うところを探しているけど…」M.O.さん

私は都会でバリバリと働きたいと思っていました。しかし、なかなか都会の雰囲気に馴染めず、うまく行きました。2月は家族と過ごす時間が長かったので、家族の大切さやあがりがみなどを知って、地元で働き、家族を楽にさせてあげたいという願望が芽生えました。インターンシップだけではなく様々な日常生活からも就活のヒントを探せるとわかりました。

「みつける！応援します！」R.H.さん

現在、高齢者向けサービスの会社に勤めている卒業生のRHさんは、2月21日OGカフェに参加していました。「私は仕事を、メディア情報学科の授業で学んだ上級コンピュータ技術と前からもっていたホームヘルパーの資格と、人々と共に働くことの3つを結び付けることができています。メディア女子時代と同じように、いつも、カメラを使っています。お客様を幸せにすることが楽しいです。私にとって、まさに最高の仕事です。就活は大変でしょう。でも、あなたを良い仕事が待っていますよ。」仕事を探しているメディア女子へ、Good luck!

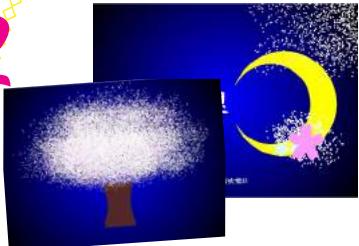


Sweet Memories

4年間のメディア女子



1



2



3



大学1年は好きな制作ができる！と心が躍り、いろいろなことを幅広く学び、ロゴやHPなどの制作をしました。その中で一番頑張った制作はHPのMusic Wonderlandです。自身の趣味である音楽鑑賞で気に入った曲の紹介ということもあって凝りまくり、先生にあきれたほどです（笑）

2年生では、資格を取りつつ、前回のこともあり、あまり凝りすぎないように制作していましたが、結局Flashを使って制作したアニメーションでは、スプレーの使い過ぎによる読み込みが遅くなつたという事件？もあったものの、楽しく勉強できていました。

3年生では、メディアワークを通して社会勉強しつつ、映像制作や冊子制作など様々なことの復習と一般常識を学ぶことができました。また、3年間フルで講義を入れていたことにより、4年生の時には卒業研究のみとなり、かなり楽になりました。

4年生では、卒業制作と就職活動が重なりました。インタビューなどは順調でしたが、制作する際にデータが飛んだり、フラッシュメモリの破損、大学と使用しているプログラムのバージョンが違うなどのトラブルが続出しましたが無事に制作と論文、就職先が決まり安心しました。



4年間を通して、パソコンに関する知識を多く学び、自身の好きなことにも活用でき、とても充実した大学生活でした！

相模女子大学 メディア情報学科 卒業生 R.K. さん